

株式会社サンヨー工業新工場の概要

1 会社概要

本社所在地	広島市安佐北区あさひが丘四丁目4番1号
代表者	代表取締役 <small>よしむら よしてる</small> 吉村 悦照
設立	1990（平成2）年10月
資本金	1,000万円
売上高	1億6,378万円（平成24年7月期）
事業内容	建設機械部品及び自家発電設備部品の製造・販売
主な取引先	コベルコ建機(株)，コベルコクレーン(株)，(株)やまびこ，三友工業(株)，日本車輛製造(株)，(株)タダノ，(株)東京電機など

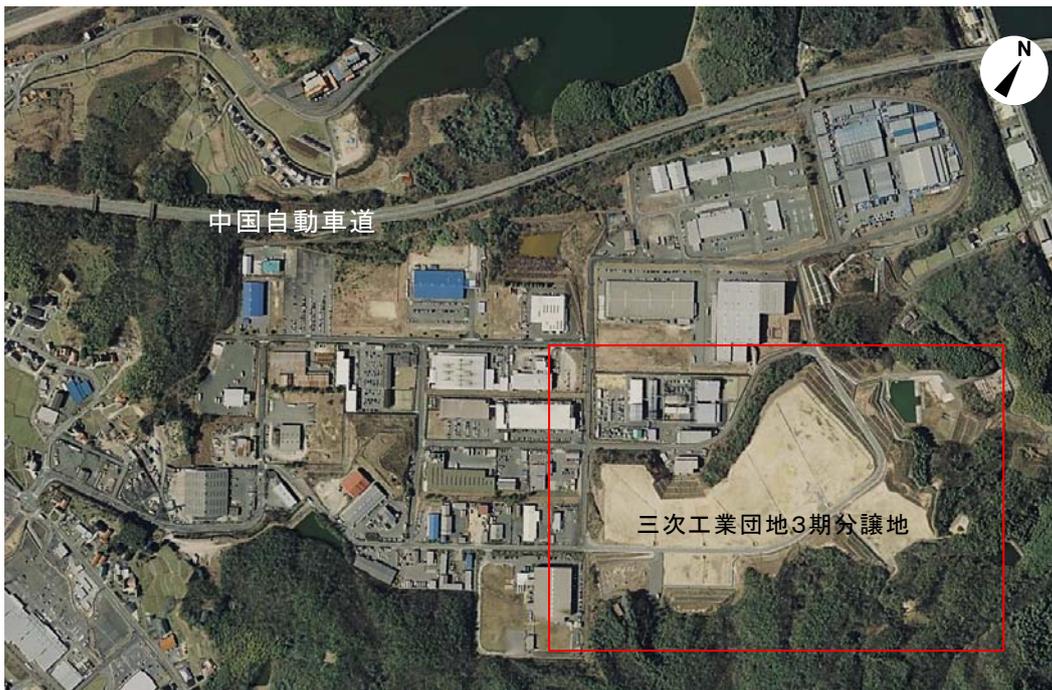
2 新工場の概要

立地面積	6,154.90 m ² （三次市南畑敷町300番地39）									
施設内容	工場・事務所：1,288.9 m ² （鉄骨造平屋建） 工場棟：1,212.02 m ² ，事務所棟：76.88 m ²									
工事着工時期	平成25年7月									
操業開始時期	平成25年11月上旬から部分的に操業を開始									
投資額	総投資額 約2億7千万円 <table border="1"><tr><td>土地取得費</td><td>129,253千円</td></tr><tr><td>工場・事務所建設費</td><td>約117,600千円</td></tr><tr><td>外構整備費</td><td>約14,700千円</td></tr><tr><td>新機械装置導入費</td><td>約8,500千円</td></tr></table>	土地取得費	129,253千円	工場・事務所建設費	約117,600千円	外構整備費	約14,700千円	新機械装置導入費	約8,500千円	
土地取得費	129,253千円									
工場・事務所建設費	約117,600千円									
外構整備費	約14,700千円									
新機械装置導入費	約8,500千円									
雇用計画	拡張移転に伴い新たに6名を雇用し，現在従業員数は13名 さらに1名を追加募集									
工場稼働計画	<ul style="list-style-type: none">● 今後1年かけて製造部門を順次移管。当面，塗装部門は現工場に残し，1年後に現工場は閉鎖する予定。● 工場稼働3年後には<ul style="list-style-type: none">➢ 生産量を1.5倍に増産 <table border="1"><thead><tr><th>製品種別</th><th>H24年決算時</th><th>稼働3年後</th></tr></thead><tbody><tr><td>マフラ部門</td><td>475本/月平均</td><td>712本/月平均</td></tr><tr><td>排管部門</td><td>932本/月平均</td><td>1,398本/月平均</td></tr></tbody></table> <p>※新工場では，新たな製品加工方法（スピニング加工，バルジ加工）を導入し，製品の多様化を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">➢ 売上高を1.3倍に増額 平成24年7月決算時の売上高163,783千円を212,917千円に増額	製品種別	H24年決算時	稼働3年後	マフラ部門	475本/月平均	712本/月平均	排管部門	932本/月平均	1,398本/月平均
製品種別	H24年決算時	稼働3年後								
マフラ部門	475本/月平均	712本/月平均								
排管部門	932本/月平均	1,398本/月平均								

3 立地の背景

国内市場の縮小により自動車部品製造メーカー各社も当分野への事業参入を進めており、東日本大震災以降、電力確保対策として、自家発電設備の需要が拡大していることから、今後も事業参入の加速が予想されることから、早急に事業拡大と効率的な生産体制の整備が必要と判断、しかし、現三次工場は、効率的な作業スペース、新設備の導入スペースの確保が困難、また、県道と急傾斜地に挟まれた立地環境から、工場拡張の余地もない状況にあり、結果、工業団地であること、立地環境のよさなどから三次工業団地Ⅲ期分譲地へ新たな生産拠点を建設することを決定した。

株式会社サンヨー工業新工場所在図



拡大

